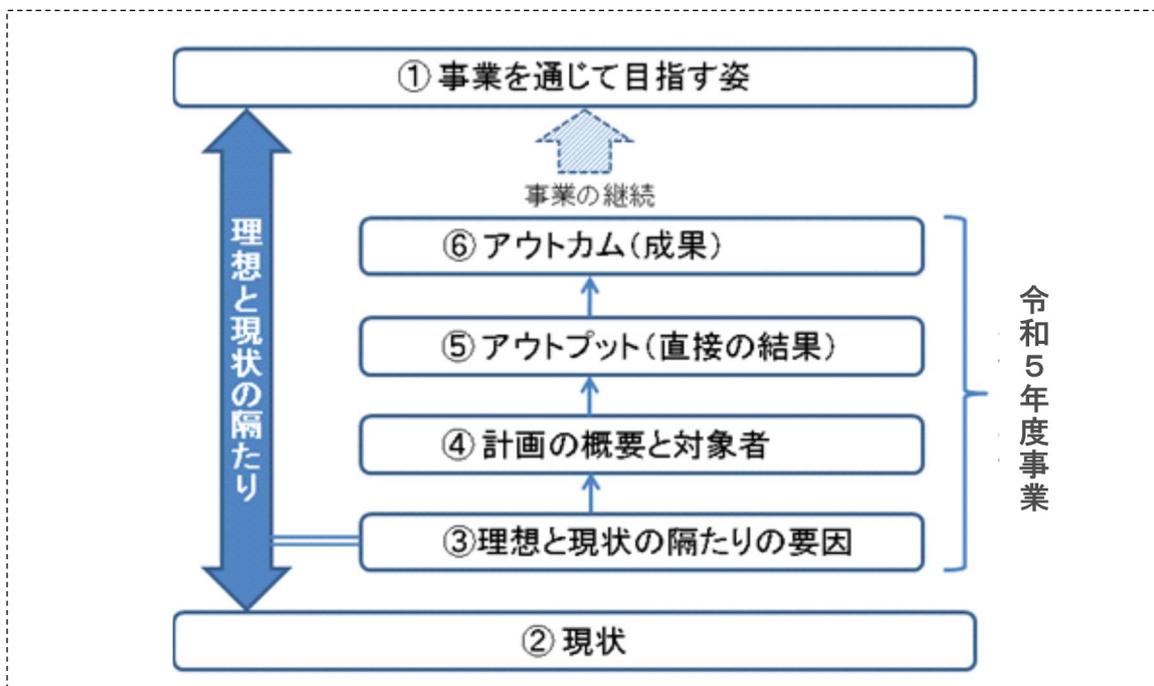


事業計画書

事業名	空き家・空き店舗利活用推進事業	
グループ名	空き家・空き店舗利活用推進グループ	
代表団体	名称	一般社団法人 moko' a
	住所	岡山県浅口市金光町大谷 294-7
	担当者	沖村舞子
	電話番号	0865-54-0995
	E-mail	mokoa.office@gmail.com

◆ 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。アウトカムには、アウトプットに直結した短期のものと、目指す姿へつながる長期のものがあります。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、○○○というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム（短期）	アウトカム（長期）
学習支援事業	学習会の開催	月4回、各回20名参加	参加者の学習意欲の向上	家庭での学習習慣の定着
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成、800人に配布	就労に必要な知識の習得	就労の定着、経済的自立
保護者支援事業	居場所の運営	週2回、各回15名参加	育児の負担感の緩和	子どもの健やかな成長
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回、各回5名利用	移動手段の選択肢の増加	移動困難者の減少

1 事業を通じて目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。事業の実施により、地域課題が改善に向かった後、「どのような地域・人が、どのような状態になっていることを目指すのか」について、具体的に記入してください。

高梁川流域の各市町で空き家・空き店舗を所有している人が利活用を行い、地域の活性化を目指す

2 現状

1「事業を通じて目指す姿」と比べて、現状はどのような状況にありますか。「どのような地域・人が、どのような状況にあるのか」について、具体的に記入してください。

空き家・空き店舗を持っていても活用されず、そのままの状態
 空き家・空き店舗を活用しようとしても、所有者だけでは維持管理が負担となる
 空き家・空き店舗のスペースを利用したい人とのマッチングができていない

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

1「事業を通じて目指す姿」と2「現状」との隔たりを生み出している、主な原因はどのようなものと考えますか。

所有者が空き家・空き店舗の利活用の仕方やメリットがわからない
 収益性が得にくい
 個人の資産に対して行政支援が行われにくい
 利用したい人の支援体制が十分でない

4 計画の概要と対象者（令和5年度）

（1）事業の形式

次のいずれか該当する事業の形式に☑をしてください（両方でも可）。

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 実践を通じてグループ内でノウハウを受け継ぐ事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> グループ内の団体それぞれが持つノウハウを持ち寄り、地域の新たな催しや地域資源を開発する事業 |

（2）計画の概要

3 「目指す姿と現状の隔たりの要因」を取り除くため、どのような事業を実施しますか。
「どのような地域・人に対して、どのような活動を行うのか」について、簡潔に記入してください。（※計画の詳細は下記7に記入してください）。

- | |
|--|
| A.高梁川流域圏内の空き家・空き店舗所有者、地域活動支援者向けの勉強会の実施 |
| B.高梁川流域圏内・近郊在住者を対象とした出店者養成講座の実施 |
| C.出店者向け空き家・空き店舗利活用拠点利用時のマニュアルを作成 |
| D.地域の拠点運営者・これから拠点を作りたい人と、出店希望者との交流会を実施 |

5 アウトプット（直接の結果）

（1）事業を通じて提供するサービス

事業を通じて、「どのような地域・人に対し、どのようなサービスを提供するのか」について、具体的に記入してください。

- | |
|--|
| A.高梁川流域圏内の空き家・空き店舗所有者、地域活動支援者向けに対して、シェアスペースとして活用している事例（総社市総社、高梁市吹屋、浅口市）をもとに、利活用を行う際の運営ノウハウや注意点についての講義を行う |
| B.高梁川流域圏内・近郊在住者を対象とした出店希望者へ、出店するにあたっての開業手続きや衛生管理についての注意点、出店内容についてのポイント等を伝える養成講座を行う |
| C.出店者向け空き家・空き店舗利活用拠点利用時のマニュアルを冊子として作成し各市町の地域拠点や商工会などへ配布する |
| D.地域の拠点運営者・これから拠点を作りたい人と、出店希望者との交流会を実施し、それぞれのマッチングを行う |

(2) アウトプットを測る指標と数値目標

事業のアウトプットを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
A.勉強会参加者	参加者0人	参加者30人
B.養成講座参加者	参加者0人	参加者30人
C.マニュアル配布数	配布数0冊	配布数1000冊
D.交流会参加者	参加者0人	参加者50人

(3) アウトプットの測定方法

事業を通じて、アウトプットを測る指標をどのように測りますか。数値目標の達成状況を把握できる、具体的な方法を記入してください。

- A.勉強会参加者…出席者を数える
 B.養成講座参加者…出席者を数える
 C.マニュアル配布数…配布数を数える
 D.交流会参加者…参加者を数える

6 アウトカム（事業の成果）

(1) 長期のアウトカム

1「事業を通じて目指す姿」の一段階手前の状況はどのようなものですか。最終的に実現しようとしている、地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

高梁川流域県内の空き家・空き店舗が活用され、多くの人が集う場所となることで、関係人口の増加、経済の循環が各地域に生まれ、地域活性化につながる

(2) 短期のアウトカム

今年度の事業のアウトプットを通じて、実現したい成果はどのようなものですか。アウトプットから今年度中に導かれる地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

空き家・空き店舗利活用にむけて、利活用したい人が増えること
 空き家・空き店舗で出店する人が増えること

(3) 短期のアウトカムを測る指標と数値目標

事業のアウトカムを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
空き家・空き店舗を利活用 したい人	0人	5人
空き家・空き店舗で出店し たい	0人	5人

7 計画の詳細

(1) 事業の具体的な内容

A 高梁川流域圏内の空き家・空き店舗所有者、地域活動支援者向けに対して、シェアスペースとして活用している事例(総社市総社、高梁市吹屋、浅口市)をもとに、利活用を行う際の運営ノウハウや注意点についてを学ぶ講演会・現地視察を行う

【実施期間】9月～10月の間 ①講演会 ②現地視察 計2回

【実施場所】①講演会：浅口市or倉敷市

②現地視察：浅口市金光町大谷

【ねらい】★空き家・空き店舗を活用した地域の拠点が增多することで、高梁川流域全体の地域活性化へと繋げていきたい

★高梁川流域圏域で行っている地域の拠点運営者・利用者同士の交流を深めたい

★各団体が運営を行っている拠点について、更なる持続可能な体制構築を目指す

B 高梁川流域圏内・近郊在住者を対象とした出店希望者へ、出店するにあたっての開業手続きや衛生管理についての注意点、出店内容についてのポイント等を伝える養成講座を行う

【実施期間】10月～1月の間 計5回の連続講座(うち3回は動画講座)

リアル実施：現地にて①出店するにあたってのポイント ②先輩出店者から学ぶ

動画受講：①開業手続きについて ②衛生管理についての注意点 ③出店内容についてのポイント

【実施場所】浅口市 & 流域内各拠点場所(総社or吹屋)

【ねらい】★「空き家・空き店舗で出店したいけどどうやったらいいかわからない・不安」や「やってみただけどうまくいかなかった」を解消するためのファーストステップになる

★空き家・空き店舗を活用した地域の拠点の利用者を増やすことで、拠点利用料としての収益を増やし持続可能な体制構築を目指す

★動画受講とすることで、運営の負担を軽減するとともに次年度以降も継続して実施できる

C 出店者向け空き家・空き店舗利活用拠点利用時のマニュアルを作成

【実施期間】 1～3月

【実施場所】 各市町の拠点や商工会などに配布

【ねらい】 ★②の講座内で出てきた出店についてのQ&Aなどをまとめる

★スタートアップのハードルを低くする

★地域の拠点についての紹介を行いマッチングにつなげる

D 地域の拠点運営者・これから拠点を作りたい人と、出店希望者との交流会を実施

【実施期間】 3月

【実施場所】 浅口市or倉敷市

【ねらい】 ★運営側と出店(利用)側との交流を行うことで、利活用&利用促進を目指す

(2) 事業のスケジュール（準備～実施～報告）

8月	A、B チラシ制作・広報（SNS発信～9月）
9月	A－①講演会の実施、B－動画作成準備
10月	A－②現地視察の実施、B－動画作成
11月	B－動画講座配信、B－リアル講座①開催
1月	B－リアル講座②開催、マニュアル作成準備、D－チラシ制作
2月	マニュアルの作成、D－広報（SNS発信）
3月	マニュアル配布、D－交流会の実施

8 ノウハウとその有効性

ノウハウとは、団体が過去に実施した活動の中で習得したり、成功や失敗の経験から得たりした、地域の課題解決に有効な手法や技術などの蓄積を言います。それぞれの団体が有するノウハウの内容と、それを事業にどのように活かせるのかについて、具体的に記入してください。

一般社団法人moko'a

浅口市内に空き家・空き店舗を活用した3つの拠点を運営中。

出店希望者からの相談対応の中で、ニーズはあるものの距離が遠いことから出店後に続かないこともある。また、空き家・空き店舗を活用したいという相談も増えていることから学びの場の必要性を感じている。

〈運営中の拠点〉

金光町：大谷みかげスクエア～拠点を作ったことで街中の賑わいや街並み保存としての効果があったものの、利用者の減少があり運営の見直しを行っている。

鴨方町：みどりヶ丘いきいきプラザ～地域活動拠点(高齢者の居場所や送迎サービス拠点)として活用している中でランチ営業や販売スペースを運営している。

寄島町：寄島ぷらっとHome～海の見える拠点としてコワーキングスペースとして運営中。観光客の窓口(レンタバイクとかもやりたい)としての活用も検討中。

備中街並みネットワーク

流域圏内各地域で空き家・空き店舗の利活用の実践を行っている。『備中町家クラス』のイベントにおいて、イベント開催や出店内容についての蓄積があり経験をもとにしたアドバイスを行う

9 事業完了後の取り組み

補助金の交付条件として、事業の完了後1年以内に、事業の成果を活かした取り組みを実施することとしています。事業の成果が継続して地域に根付くのに有効な取り組みであれば、その規模や内容は問いません。事業完了後に予定している取り組みの内容を具体的に記入してください。

(1) 事業の実施主体となる団体名

一般社団法人 moko' a

(2) 事業完了後の取り組みの概要

- 出店者養成講座の継続実施
(受講費あり、随時募集)
- 出店マニュアルの配布
- 拠点運営者と出展者の交流会を実施(年1回)

10 SDGs との関係

次のSDGsの17のゴールのうち、申請する事業に関する番号を選び、1～2個記入してください。なお、当補助金の要件を満たせば17（パートナーシップで目標を達成しよう）に該当しますので、あらかじめ記入しています。

① 17 ② 11 ③ 12

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>2 飢餓をゼロに</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> 	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p> 	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 
<p>SDGsとは 2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標です。経済・社会・環境の諸課題の統合的な解決を目指し、17のゴールは基本コンセプトである「だれ一人取り残さない」を実現するために、分野別の目標としてまとめたものです。</p>			<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 

収支予算書

	所属・役職	氏名
経理責任者	一般社団法人 moko' a 代表理事	沖村舞子
経理担当者	一般社団法人 moko' a 副代表理事	小林美希

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
補助金		750,000	※千円未満切り捨て、上限750千円
参加費	出店者向け講座	90,000	3,000円×30人
	交流会	25,000	500円×50人
その他	自己資金	9,000	
収入合計		874,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠	
人件費	企画詳細検討	36,000	900円×4h×5日×2人	
	講義資料作成	33,000	900円×4h×3日×3人 (A.勉強会)	
	講師当日稼働分		36,000	900円×4h×10日×1人 (B.養成講座)
			27,000	900円×5h×2日×3人 (A.勉強会)
			9,000	900円×5h×2日×1人 (B.養成講座)
	当日運営スタッフ		108,000	900円×6h×4日×5人 (A.B.講義等)
			54,000	900円×6h×1日×10人 (交流会)
	講座動画資料作成	108,000	900円×4h×15日×2人	
マニュアル制作	36,000	900円×4h×10日×1人		
謝金	勉強会講師	30,000	30,000円 (1回)	
旅費交通費		0		
消耗品費	配布資料印刷費	12,000	1枚5円×20枚×30部×4回	
	文具等	5,000		
印刷製本費	チラシ印刷費	30,000	A4両面印刷 1,000部×3回	
	マニュアル印刷費	30,000	A4 8P 中綴じ印刷 1,000部	
通信運搬費		0		
保険料		0		
使用料・賃借料	会場使用料	20,000	5,000円×4回 (講義等)	
		10,000	5,000円×2回 (視察会場)	
		10,000	10,000円×1回 (交流会)	

委託料	広告宣伝 (SNS 発信)	90,000	30,000 円×3 ヶ月
	チラシ制作	75,000	25,000×3 回
	動画編集作業	90,000	30,000 円×3 回
対象経費計		849,000	
食糧費	交流会飲食物	25,000	500 円×50 人
その他		0	
対象外経費計		25,000	
支出合計		874,000	(収入合計と一致)

※金額は切り上げて千円単位で記入してください。